

わたし

私にできる ちょっとした したこと

まちには、さまざまな人が暮らしています。年齢や性別、国籍、障害などにより、不便に感じるものが違います。今回の「情報編」では、だれがどんな方法で情報を得ているかを知ること、お互いの理解を深めていきます。自分と違う方法で情報を入手している人に情報を伝えるための、私にできる“ちょっとしたこと”も掲載していますので、取り組んでみてください。

① 情報の入手方法には、いろいろな種類がある

- ・文字の情報では、情報を得ることができない人もいます。音や点字(注釈1)、さわることで、情報を得ている人もいます。
- ・音声では、情報を得ることができない人もいます。手話や文字などで情報を得ている人もいます。
- ・日本語が苦手な人もいます。図記号(5ページ参照)や色の使い分けから情報を得る人、ひらがなや外国語表記だとわかる人もいます。



② 私たちにもできることがある

- ・音声案内や電光掲示板など、情報を得るときに頼りにしているものは、人によって違います。しかし、これらの整備は、まだ十分ではありません。
- ・そんなとき、近くにいる人が“ちょっとしたこと”で、情報を伝えることができます。
- ・具体的には、冊子3～5ページにある「私にできるちょっとしたこと」をご覧ください。

せき
あちらの席が
あいています



③ 自分でも情報をさがしてみよう

- ・この冊子では、さまざまな立場の人が情報を得る方法も掲載しています。さがしてみましよう。



スマート
フォン



ガイドブック

パンフレット



パソコン

(注釈1)点字

タテ3点、ヨコ2点の6つの凸点の組み合わせで、五十音や数字などを表しています。この凸点を指先でさわって読みます。

